

「しか」と「だけ」

「しか」は「<A>しか～ない」の形で使われ、A以外を否定する意味を表します。

- 例1 今日、学校には山田君しか来ていない
= 山田君は来たが、他の人は誰も来ていない

「だけ」は範囲を限定する意味で使われる。

- 例2 野生のパンダがいるのは中国だけだ

「だけでは」の形で限定された条件を表す。

- 例3 これだけでは足りない

「だけでは～」の後半は否定的な表現となる。肯定的な文の場合には「だけで」を使う。

- 例4 ニュースを見るのに新聞はいらない。インターネットだけで充分だ
この場合には範囲を限定する「だけ」に、手段・方法・材料等を表す「で」が付いた形と
考えてもよい。

みんなの日本語 第27課

練習 A3

- ①私は、日本語しか分かりません = 日本語だけ分かります
②私は、日本語が少ししか話せません = 少しだけ話せます
③昨日、日本語を1時間しか勉強しませんでした = 1時間だけ勉強しました

問題5

- ①「テレビで映画を見ますか」「いいえ、ニュースしか見ません」
= ニュースだけ見ます
②「スポーツは何でもしますか」「いいえ、テニスしかしません」
= テニスだけします
③「土曜日も休めますか」「いいえ、日曜日しか休めません」
= 日曜日だけ休めます
④「昨日はよく寝られましたか」「いいえ、少ししか寝られませんでした」
= 少しだけ寝られました
⑤「外国人の先生を皆知っていますか」「いいえ、ワット先生しか知りません」
= ワット先生だけ知っています

みんなの日本語 第11課

例 「スペイン語をどのくらい勉強しましたか」

「3カ月勉強しました」

「えっ、3カ月だけですか」 = 3カ月しか勉強していないんですか

参考

「だけしか」は「しか」を強調した形で、使い方は「しか」と同じである

例 日本語だけしか知りません = 日本語だけ知っています